（2024/2/19 版）

2024 年度（4月入学）
入学料免除･徴収猶予申請要領

大学院生用

《入学料免除・徴収猶予について》

次に掲げる「対象者」のいずれかに該当する場合は、本人の申請に基づき、選考のうえ、「免除」制度は入学料の全額又は半額を免除します。「徴収猶予」制度は、入学料納入期限を９月中旬（予定）まで延長します。
なお、「免除」と「徴収猶予」は併願できません。
入学料免除の予算は非常に限られており、申請を行い、経済的困窮が認められる場合でも不許可になることがあるので、入学料納入の準備は事前に行っておいてください。
また、事前に p.4≪注意事項≫を必ずご一読ください。

《対象者》

1. 入学前１年以内に学資負担者が死亡した者
2. 入学前１年以内に本人又は学資負担者が風水害等の災害を受けた場合
   また、それに準ずる場合
3. 経済的理由により入学料の納付が困難であり、かつ、学業優秀者

（一橋大学入学料免除及び徴収猶予規則 参照）

《申請方法》

入学料免除または徴収猶予を申請する者は、提出書類を確認し、提出期限までに学生支援課へ郵送または窓口への直接提出にて申請してください（郵送の場合、簡易書留郵便にて提出期限必着。詳細および海外からの申請については p.5 参照。窓口提出は 17 時 15 分まで）。

【 提 出 期 限 】

研究科等により提出期限が異なります。期間外・時間外の申請は受け付けませんので、厳守してください。

経営管理研究科		経済学研究科	2024 年３月１日（金）
２段階申請者	2024 年３月７日（木）	社会学研究科	2024 年３月６日（水）
上記以外	2024 年３月５日（火）	言語社会研究科	2024 年３月４日（月）
法学研究科（法科大学院除く）		国際・公共政策大学院	2024 年３月１日（金）
法学・国際関係専攻（修士課程社会人特別選考及び一般選抜際関係専攻）	2024 年３月７日（木）	法科大学院	2024 年３月１日（金）
法学・国際関係専攻（博士後期課程選抜及び修士課程外国人特別選考）	2024 年２月 29 日（木）	ソーシャル・データサイエンス研究科	2024 年３月７日（木）
ビジネスロー専攻	2024 年３月７日（木）		

【 提 出 先 】

郵　　送 ： 〒186-8601 東京都国立市中 2-1　一橋大学　学生支援課　奨学事業係　宛
窓口提出 ： 学生支援課（国立西キャンパス本館１階）８：30～17：15（土日祝日除く）
※ただし、２月 22 日（木）、２月 26 日（月）は窓口提出不可。

【 結 果 発 表 】

７月末頃、メール（学籍番号@g.hit-u.ac.jp）に通知予定　※本学ウェブサイトに通知の旨を掲載しますので、通知の届かない場合は、学生支援課に問い合わせてください。

《提出書類》

※書類は全て、黒または青のボールペンで記入してください。消せるボールペンや、鉛筆は使用不可です。

【前期授業料免除と併願する場合について】

2024 年度前期授業料免除と併願する者は、重複する様式および証明書類について、1 部原本の提出があればもう 1 部は写しでの提出とすることが可能です（ただし、「(様式 A) 入学料免除（徴収猶予）願」は写し不可）。

提出書類一覧　○：全員必須　△：該当者のみ

	作成者	[区分３]※1 一般学生	[区分２] ※1 独立生計者	[区分１] ※1 外国人留学生
（様式 A）入学料免除（徴収猶予）願	本人	○	○	○
（様式 B）家庭状況調書	本人	○	○	○
（様式 C）収入状況申立書	本人	○	—	—
（様式 D）経済状況報告兼申立書	本人	—	○	○
（様式 E）手当等受給状況申立書	家計支持者	○	○	○
所得・課税証明書　→p.3 1 参照		○	○	—※２
世帯全員分の住民票　→p.3 2 参照		○	○	—
（別表Ⅰ）所得に関する証明書類　→p.6 参照		○ 本人及び家族全員分 ※３		○※３,４
（別表Ⅱ）特別控除に関する証明書類 →p.7 参照		△ 本人及び家族全員分		△※４
独立生計に関する証明書類　→p.3 3 参照		—	○	—
健康保険証の写（表面）→(台紙 1)に貼付して提出		—	○※５	○※４,５
在留カードの写（両面）→(台紙 1)に貼付して提出		—	—	○※４

※１　申請資格の区分については、下記で確認してください。

※２　［区分１］外国人留学生のうち、日本に同居家族（配偶者等）がいる場合、その家族の所得・課税証明書が必要になります。ただし、その家族も外国人留学生である場合は不要です。

※３　［区分２］独立生計者および［区分１］外国人留学生は、p.7「別表Ⅲ（様式 D)経済状況報告書兼申立書の申告内容の証明のために追加で提出するもの」を併せて確認のうえ、該当する証明書類を提出してください。

※４　本人及び日本在住の同居家族全員分を提出してください。まだ発行されていない場合は、その旨を(様式 J)家庭事情申立書④に記入してください。

※５　保険者番号及び被保険者等記号・番号に黒塗り等を施し、当該箇所が隠れた状態で提出してください。

申請資格の区分について　不明点がある場合は、学生支援課へ相談ください。

［区分１］外国人留学生

外国籍である学生。ただし、父母が日本在住の学生は、「[区分 3]一般学生」になります。

［区分２］独立生計者

2024 年 4 月 1 日時点で、次の１～３全ての条件を満たす大学院生。（外国人留学生は除く）

1．所得税法上、父母等の扶養家族でない者
2．父母等と別居している者
3．本人又は配偶者に収入があり、その収入について所得申告がされ、市区町村から所得証明書が発行される者

別居見込みの者、親族から経済的支援を受けている者は、独立生計者として認定しません。

［区分３］一般学生

[区分 1]外国人留学生、[区分 2]独立生計者どちらにも該当しない学生。

（次のページへ）

世帯構成員の確認について

申請資格区分によって以下のとおり世帯の構成員が異なります。

	世帯の構成員	［区分３］ 一般学生	［区分２］ 独立生計者	［区分１］ 外国人留学生
①	申請者本人（配偶者を含む。［区分１］外国人留学生の配偶者は日本在住の場合のみ）	○	○	○
②	父母、又は父母に代わって家計を支えている者（家計支持者）	○		
③	所得税法上、②又は①の扶養下にある者（ただし、祖父母は同居の場合のみ）	○	○	△

○：世帯構成員に該当　△：当該構成員が日本在住の場合のみ該当

・上記に該当する者は全員世帯構成員に含まれますので、当該構成員に係る各種証明書類の提出が必要となります。
・①について、原則として配偶者（事実婚含む）及びそれに準ずる者を別生計にすることはできません。
・②について、［区分２］独立生計者および［区分１］外国人留学生は申請者本人（又は配偶者）を学資負担者とみなします。
・③について、就学者又は乳幼児は、所得税法上に限らず世帯構成員に含めます。
・②③に該当しない兄弟姉妹・祖父母等は原則として世帯構成員に含まれないため、様式への記入および各種証明書類の提出は不要です。　（例）社会人の姉 → 同居・別居を問わず世帯構成員には含まれません（②に該当する場合を除く）。ただし、事情により②③に該当しない兄弟姉妹・祖父母を世帯構成員に含めて申請を希望する場合はその理由を様式１に明記したうえで各種証明書類を提出してください。

１　所得（課税・非課税）証明書（市区町村発行）

（提出対象者）
・**乳幼児・就学者・別生計者を除く世帯全員分**を提出してください。予備校生は就学者に含まれません。
・大学院入学生の申請者は、本人分も提出してください。（［区分１］外国人留学生は、本人分は不要）
・［区分１］外国人留学生で、日本に同居家族（配偶者等）がいる場合は、その家族分は必要となります。ただし、その家族も外国人留学生である場合は不要です。

（注意事項）
・**発行３か月以内の原本**が必要です。
・市区町村役場には、**「令和４年１月～12 月分の所得金額・所得控除・扶養控除・税額の内訳が記載された所得証明書（課税・非課税証明書）の発行」**を依頼してください。
・家族全員の所得が１枚にまとめて証明されているものは認めません。
・収入がない場合は、非課税証明書を提出してください。
・所得・課税証明書（非課税証明書）という名称は、市区町村によって異なる場合があります。
・海外在住のため、所得・課税証明書が発行されない場合、その旨を(様式 J)家庭状況申立書④に記入してください。
・所得・課税証明書に加えて、p.6「（別表Ⅰ）所得に関する証明書類」を提出してください。

２　世帯全員の住民票（同一生計の家族が一覧形式で確認できるもの）

・**発行３か月以内の原本**が必要です。
・**個人番号（マイナンバー）の記載のない住民票**を用意してください。
・**個人の住民票ではありません。**住民票の下に**「この写しは、世帯全員の住民票の原本と相違ないことを証明する」**の文言が印字されていることを確認してください。

※家族と別居している申請者本人や別居・別生計の家族が住民票を移していない場合、現住所が記載されている公共料金の領収書の写、賃貸契約書の写等を追加提出してください。無い場合は、(様式 J)家庭事情申立書④で申し立ててください。ただし、一橋大学の学生寮に住む申請者については、本人分は提出不要です。なお、別生計とは、独立生計の３条件（→p.2「申請資格の区分について」）を満たしていることを指します。
（例）社会人の姉は別居しているが住民票は残したままである。→姉の別居を証明する書類を追加提出
※別居・同一生計の家族が住民票を移している場合、その家族の住民票も別途提出してください。
（例）地方大学に通う兄は住民票が別である。→兄の住民票を追加提出

３　独立生計に関する証明書類

[区分 2]独立生計者として申請する場合、その証明として下記のいずれかを提出してください。

申請者本人（又は配偶者）が筆頭（世帯主）となっていることが分かる健康保険証の写
※保険者番号及び被保険者等記号・番号に黒塗り等を施し、当該箇所が隠れた状態で提出してください。

（健康保険証の写を証明書類として提出できない場合）
父母の源泉徴収票の写（前年分）、父母の確定申告書(第一表、第二表)の写（前年分）、被扶養者資格喪失証明書の写のいずれか

※直前に独立生計になり、上記書類のいずれも証明書類として提出できない場合、(様式 J)家庭事情申立書④に元扶養者の直筆でその旨を申し立ててください。

４　《免除対象者》の１又は２の該当者が追加で提出するもの

(1) 学資負担者の死亡を証明する書類（死亡診断書の写 等）
(2) 学資負担者死亡により得た所得金額の証明書（退職金、死亡保険金等の証明書類）
(3) 本人又は学資負担者の災害の災害程度・被害金額が判断できる詳細な罹災証明書及び被災額証明書

《注意事項》

1. **提出期限までに申請書類の提出のない者は、入学料免除（徴収猶予）申請は受け付けられませんので、十分注意してください。**
2. **提出期限までに申請書類が全て揃わない場合は、申請期間前に学生支援課まで申し出てください。**
3. **入学料免除（徴収猶予）を申請した者は、結果が出るまでは納入を猶予されるので、それまでは入学料を納入しないでください。**(一度納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。)
4. 入学料免除・徴収猶予に関する連絡は、全て大学 Gmail(学籍番号@g.hit-u.ac.jp)を使用します。定期的に確認してください。
5. 徴収猶予の結果が発表になり、不許可となった者は、結果の告知日から 14 日以内の指定された期日までに、最寄りの銀行等に所定の入学料を納入しなければなりません。
6. **免除結果が発表になり、半額免除あるいは不許可となった者は、結果の告知日から 14 日以内の指定された期日までに、最寄りの銀行等に所定の入学料を納入しなければなりません。**ただし、半額免除あるいは不許可であるが経済的理由を認定された者については、結果発表後、徴収猶予の手続きを再び行うことにより、徴収を猶予することがあります。
7. **指定された納入期限までに入学料の納入がない場合には、除籍となる**ので十分注意してください。
8. **記載内容及び提出書類に虚偽の事実が判明した場合は、許可された免除について取り消します。**
9. 申請を取り下げる場合は、速やかに学生支援課に連絡のうえ指示をうけてください。

《郵送での提出方法》

【国内から郵送する場合】

郵送用宛先票（p.21）を使用し、申請書類一式を「**簡易書留郵便**」で郵送してください。
（**研究科等の受付期間最終日必着**）

【海外から郵送する場合】

次の①～③を全て**研究科等の受付期間最終日（日本時間）**までにおこなってください。

① 申請書類一式を準備し、PDF データ化する。
・データは１つにまとめ、ファイル名は「受験番号_氏名」とする。（例）「11111_一橋太郎」

② 申請書類一式の原本を、学生支援課奨学事業係宛に「**ＥＭＳ**」で郵送する。
・その際に、追跡問い合わせ番号を必ず控えること。
・

③ **郵送後ただち**に、①**申請書類一式の PDF データ**と、②**追跡問い合わせ番号**を、学生支援課奨学事業係宛(scholarship@ad.hit-u.ac.jp)にメール送付する。
・メールの件名は「入学料免除・徴収猶予申請_受験番号_氏名」とすること。
・PDF データと郵送する申請書類一式に相違がないようにすること。

【問い合わせ先・郵送先】

一橋大学 学生支援課 奨学事業係
電　話：042-580-8117（平日 8:30～17:15）
メール：scholarship@ad.hit-u.ac.jp
郵送先：〒186-8601 東京都国立市中 2-1

入学料免除（徴収猶予）申請時に提出していただく全ての書類に記載されている個人情報は、経済支援業務の適正な範囲内においてのみ利用し、その他の目的には利用しません。

個人番号（マイナンバー）の記載のない書類を用意してください。やむを得ず記載のある書類を提出する場合は黒塗り等を施し、当該箇所が隠れた状態で提出してください。

別表Ⅰ	所得に関する証明書類

市区町村発行の所得証明書（p.3【提出書類】 1 所得・課税証明書（市区町村発行）参照）に加えて、以下の区分の証明書類を提出してください。

※乳幼児、就学者、別生計者を除く家族（外国人留学生は日本在住の同居家族）及び本人のうち、以下の区分に該当する者全員分の証明書類を提出してください。また、ひとりに複数の該当事項がある場合には、該当する全ての書類が必要となるのでご注意ください。

区　　分	添　付　書　類	発行機関等
給与所得者（パートを含む）、アルバイト （申請時に恒常的に行っているもの）	源泉徴収票の写（前年分） ※複数の勤務先がある場合は、全て必要です。ただし、すでに退職した勤務先のものは不要。 ※源泉徴収票が出ない場合、前年と状況が異なる場合は、直近３か月分の給与明細の写（ウェブ閲覧の給与明細は、閲覧画面の写でも可）、労働条件通知書（雇用契約書）の写、（様式F）賃金等支払証明書のいずれかを提出してください。	勤務先
事業（営業等・農業）所得者、不動産所得、利子所得、配当所得、一時所得、株式譲渡所得、雑所得等のある者	確定申告書の第一表・第二表の写（前年分） ※受付印のあるものを提出してください。受付印がない場合は、その理由を余白に記入してください。（例：電子申告のため。） ※分離課税の申告のある者は第三表も必要です。 ※確定申告を行っていない場合は、市民税・県民税申告書の写（当年分）を提出してください。	税務署・自治体等に申告した控え
退職者（申請前１年以内） 〈前期は前年４月、後期は前年10月以降〉	退職金支給額証明書、退職所得源泉徴収票の写のいずれか	元勤務先
	※現在、職業安定所で雇用保険・失業給付手続き中の者は、雇用保険受給資格者証の写も併せて提出してください。	職業安定所
退職予定者（申請後６ヶ月以内） 〈前期は当年９月、後期は翌年３月まで〉	退職予定証明書、退職後の収入（退職金等）見込証明書のいずれか	勤務先
休職者	休職証明書 ※「氏名」「休職期間」「休職期間の給与支給の有無」「所属長の署名又は公印」は表記してください。 ※休職中に給付金が支給される場合、短期給付金支給証明書の写、育児休業基本給付金支給決定通知書の写等も併せて提出してください。	勤務先
無職者（予備校生及び各種学校生含む）	（様式J）家庭事情申立書 ②【無職無収入について】	家計支持者作成
年金（恩給・老齢・遺族・障害等）受給者	年金源泉徴収票の写（前年分）、最新の年金支払証明書の写、年金額改定通知書の写、年金額（振込）通知書の写等のいずれか ※受給している全ての年金について提出してください。	保管中のもの
生活保護受給世帯	保護決定（変更）通知書の写等（受給額のわかるもの）	福祉事務所
個人で申請している奨学金の受給者	受給証の写等（受給額・受給期間のわかるもの） ※日本学生支援機構奨学金、大学を通じて申請した奨学金の場合、提出不要。	保管中のもの
日本学術振興会特別研究員採用者	採用決定通知書の写、源泉徴収票の写（前年分）のいずれか	日本学術振興会
臨時所得（保険金、資産譲渡所得等）のあった者 （申請前１年以内に受給した上記以外の所得）	所得額、受取日を証明する書類	保険会社等
生計維持のための十分な所得がない世帯	（様式 J）家庭事情申立書 ③【十分な所得がない場合の生計維持費について】	家計支持者作成

別表Ⅱ	特別控除に関する証明書類

家族全員(外国人留学生は日本在住の同居家族全員)について、該当する場合は必ず提出してください。なお、提出のない場合には控除対象とならないのでご注意ください。

区　　分	添　付　書　類	発行機関等
高校生以上の就学者のいる世帯（本人、小・中学生を除く）	学生証の写、在学証明書、(様式G)在学状況証明書のいずれか ※発行日または有効期限により、基準日（前期４月１日、後期10月１日）時点における在学がわかるもの。	在学校
母子・父子世帯	(様式J)家庭事情申立書 ①【母子父子家庭について】	家計支持者作成
	※児童扶養・育成手当を受給している場合、受給額の分かる通知書の写等も併せて提出してください。	福祉事務所又は市区町村役場
障害者のいる世帯（本人を含む）	障害者手帳(身体障害者手帳、療育手帳等)の写	保管中のもの
原爆被爆者（障害のある場合）のいる世帯	健康管理手当証書の写	保管中のもの
長期（６ヶ月以上〈見込みを含む〉）療養者のいる世帯	(様式H)長期療養証明書 ※直近６ヶ月以内の診断書、及び療養費の領収書の写でも可 ※高額医療費の還付金を受給している場合、高額医療費還付金の通知書の写も併せて提出してください。	医療機関等 保管中のもの
要介護者のいる世帯	(様式I)介護サービス証明書 ※発行できない場合のみ、介護保険被保険者証の写及び最近６ヶ月以内の自己負担分の領収書の写	
家計支持者が別居（単身赴任等）	別居していることを証明する書類 （辞令の写又は住民票等） 住居費と水道光熱費の領収書の写 （赴任先等での最近６ヶ月以内のもの）	勤務先等 保管中のもの
火災・風水害・盗難等の被害があった世帯	罹災証明書、被災額証明書、盗難届出証明書	消防署・市区町村役場・警察署等

※源泉徴収票や療養費の領収書など、サイズの小さな書類は、出来る限りＡ４サイズでまとめてコピーして提出するようにして下さい。

別表Ⅲ	(様式D)経済状況報告書兼申立書の申告内容の証明のために追加で提出するもの

貯金・貯蓄を取り崩している者	直近２か月分の生活費の入出金に使用している通帳の写 ※１ ※貯金・貯蓄が十分な額があることが必要です。
仕送り・援助を受けている者 （[区分1]外国人留学生のみ）	仕送り額の分かる通帳の写 ※１ 又は 経費支弁者直筆の申立書 ※２ ※２ **申立書は申請者本人が作成するものではありません。経費支弁者直筆（代理作成は一切認めません）の「援助金額（月額〇〇円、年額〇〇円等）・記載日・署名・捺印」を必ず表記してください。**書式は問いません。なお、申立書は原本である必要はなく、スキャンデータや写真を印刷したものでも構いません（ただし判読可能なもの）。日本語以外の場合は、申請者自身で和訳をつけてください。

※１　ウェブ閲覧の場合は閲覧画面の写でも可。

（様式Ａ）

入 学 料 免 除（徴 収 猶 予）願

2024 年　　月　　日

一 橋 大 学 長　　殿

下記により入学料の免除（徴収猶予）を希望するので、申請書類及び証明書等を添えて申請します。
なお、申請内容は事実と相違ありません。また、申請に虚偽のあることが判明した場合は、許可された免除（徴収猶予）について取り消されても、異議はありません。

記

※複数の選択する項目がある場合は、該当する部分を〇で囲んでください。

所属	研究科等：	学籍番号(未定の者は記入不要)：	氏名（自署）	フリガナ
	課程：〔 修　士 ・ 博　士 ・ 専門職 〕	受験番号：		

申請内容（１つを選び〇印）	１．徴収猶予を希望する ２．免除を希望する
	(免除申請の場合、申請理由を選択してください) 1.　経済的理由　　2.　学資負担者死亡　　3.　被災 「1. 経済的理由」以外の理由での申請の場合、該当する必要書類を併せて提出してください。
所定の入学料	282,000　円　（ 2024 年度入学 ）

入学料免除（徴収猶予）出願理由

◎特殊事情等を判定の際に考慮することがあるので、具体的に記入してください。

申請区分　※申請要領 p. ２参照	[区分 3]一般学生 ・ [区分 2]独立生計者 ・ [区分 1]外国人留学生

※次のページの「家庭状況調書」を必ず記入のこと。

（様式Ｂ）

家 庭 状 況 調 書

（注意）１．調書の記入については、裏面（p.10）『「家庭状況調書」記入上の注意』を参照すること。
２．**４月１日時点の情報を記入すること。**
３．複数の選択する項目がある場合は、該当する部分を〇で囲むこと。

①出願者	フリガナ		研究科等（ 修 ・ 博 ・ 専 ）:	受験番号：
	氏　名			入学年度：2024 年度
	住　所（入学前）	〒		TEL 携帯電話 Ｅメール
	住　所（入学後）	〒		

②連絡先（実家等）	氏　名	本人との続柄	（住所）〒 TEL

③家族及び収入　家計支持者に〇　家族と別居している者に×

就学者を除く家族	続柄	氏　名	年齢	職　業	在職期間	賞与	給与の収入金額（税込）	給与以外の収入金額（必要経費控除後の額）
	父				年	有・無	千円	千円
	母				年	有・無	千円	千円
					年	有・無	千円	千円
					年	有・無	千円	千円
					年	有・無	千円	千円

就学者	続柄	氏　名	年齢	在　学　校　名	学年	通　学　区　分
	本人			国立　一橋大学		自宅 ・ 自宅外
				立		自宅 ・ 自宅外
				立		自宅 ・ 自宅外
				立		自宅 ・ 自宅外

④家族状況

父母が離別・死亡等の場合	続　柄	区　分		時　期
	父 ・ 母	離 別 ・ 死 亡 ・ その他（　　）		年　月～
生活保護受給世帯の場合	受給開始時期 ： 年　月～			
障害者・原爆被爆者（障害のある場合）がいる場合	続　柄	氏　名	手 帳 番 号	時　期
				年　月～
				年　月～
主たる家計支持者が家族と別居している場合（領収書の額）　千円	続　柄	別　居　先　住　所		時　期
				年　月～
長期療養者のいる場合（領収書の額）　千円	続　柄	氏　名	程度（入院・通院等）	初 診 日
				年　月
				年　月
災害被害を受けた場合（被災額）　千円	種　類		被 害 の 程 度	被 災 時 期
	火 災 ・ 風水害 ・ 地 震 その他（　　）		全壊 ・ 大規模半壊 半壊 ・ 一部損壊	年　月　日

「家庭状況調書」記入上の注意

② 欄

「連絡先（実家等）」は、本人不在の場合に連絡の取れる者、原則として日本国内に在住の父母兄姉を記入してください。事情によりそれが難しい場合は、これに代わる者を記入してください。

外国人留学生は、日本国内在住の父母兄姉がいない場合は日本在住の知人等でも結構です。

③ 欄

「就学者を除く家族」と「就学者」とに分けて記入してください。

(1) 家族とは、同居、別居を問わず生計を同一にする者は全員（外国人留学生は、日本在住の同居家族のみ）記入してください。**別居独立の生計を営む兄弟姉妹、及び生計を同一にしない別居の祖父母は記入の必要はありません。**
また、家計支持者に○印を、就学者を除く家族のうち家族と別居の者には×印を、続柄欄の続柄の右に付けてください。

(2) 就学者とは、大学・高等専門学校・高等学校・中学校・小学校及び専修学校（高等課程・専門課程）等に在学する者に限ります。各種学校（予備校等）、大学校等に通学する者や大学の非正規生（研究生、聴講生等）は就学者に含めないでください。
就学者のうち、小・中学校以外については、必ず「国・公・私立」「自宅・自宅外」の別を明記し、また専修学校には学校名の後に高等あるいは専門のいずれの課程かを括弧書きで明記してください。

(3) 職業は、「会社員」「公務員」「小学校教員」、自営業の場合は「○○店経営」などと記入してください。

(4) 在職期間は、現在の職に就いてからの年数を記入してください。1年未満の場合は、月数を記入してください。

(5) 賞与の有無について、必ず印を付けてください。

(6) 収入金額とは、前年の1月～12 月までの1年分（奨学金は、申請時点までに確定している当該年度分）の収入金額です。
次を参考に「給与の収入金額」と「給与以外の収入金額」とに分けて記入してください。

給与	給料、賃金、賞与、役員報酬、専従者給与、年金、生活扶助費、傷病手当、失業給付金、児童扶養手当、障害者手当、日本学術振興会研究奨励金　等
給与以外	自営業、不動産所得、利子所得、配当所得、退職金、保険金、給与奨学金、預貯金の取り崩し、他からの援助（養育費等）　等

「別表Ⅰ　所得に関する証明書類」（p.6）により、必ず家族に確認して次のように記入してください。

a) 給与の収入金額（税込）は、源泉徴収票の「支払金額」欄に記載されている金額、又は給与明細等によって推算できる12ヶ月分（**賞与のある給与収入については、15ヶ月分**）の支払金額を記入してください。

b) 給与収入以外の収入金額（必要経費控除後の額）は、確定申告でいう「給与以外の所得金額」を記入してください。

c) 前年の中途又は当年新たに就職・転職（開業・転業等を含む）した場合は、申請時現在の職業の月収及び賞与等を考慮の上、年間の収入見込額を推算して記入してください。

◎「収入金額」については、新規採用・失業・転職等で推算ができない場合は無記入でも結構です。

④ 欄

父母の離別・死亡等の場合、生活保護を受給している場合、家族のうち障害者・原爆被爆者・長期療養者がいる場合、主たる家計支持者の別居の場合、災害等の被害があった場合はこの欄に記入してください。

なお、記入事項について添付書類による証明が必要となるので、「別表Ⅰ　所得に関する証明書類」及び「別表Ⅱ　特別控除に関する証明書類」（p.7）を参照してください。

a) 主たる家計支持者が別居している場合とは、単身赴任等のため家計支持者が家族と別居している場合であり、別居のために特別に支出している住居費、水道光熱費について、願書を提出する最近6ヶ月間以内の領収書により年間の見込金額を記入してください。

b) 長期療養者とは、6ヶ月以上療養中又は療養見込みの者で、願書を提出する最近6ヶ月間以内の療養費の領収書（入院の場合の食費を除く）により年間の見込金額を記入してください。

c) 災害等の被害に遭った場合とは、申請前3年以内に、日常生活を営むために必要な資材あるいは生活費を得るための基本的な生産手段（田・畑・店舗等）に被害がある場合であり、将来長期にわたって支出増又は収入減になると認められる年間金額を記入してください。

（様式Ｃ）

収　入　状　況　申　立　書（[区分 3]一般学生 のみ）

研究科等＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　受験番号＿＿＿＿＿＿＿＿　氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

１．奨学金について

2024 年４月以降に受給が確定している奨学金について、該当の有無を選んでください。

☐ 該当あり　　☐ 該当なし

該当ありの場合は、以下に記入してください。

奨　学　団　体　名	受　給　期　間	月　　額
日本学生支援機構	年　　月 ～　　年　　月	円
日本学生支援機構	年　　月 ～　　年　　月	円
	年　　月 ～　　年　　月	円
	年　　月 ～　　年　　月	円
	年　　月 ～　　年　　月	円

※ 大学を通さず個人申請した奨学金の場合は、受給証（受給額・受給期間がわかる書類）の写を添付してください。

※ 受給期間とは、その奨学金の交付の開始から終了までのことです。

※ 受給が終了している奨学金については、記入の必要はありません。

２．アルバイト又は定職について

申請時現在恒常的に行っている、あるいは 2024 年４月以降に恒常的に行うことが決定しているアルバイト又は定職について、該当の有無を選んでください。

☐ 該当あり　　☐ 該当なし

該当ありの場合は、以下に記入してください。退職済のものは記入不要。

会社名等・職種	勤 務 予 定 期 間	条　件　等	収入平均月額
	年　　月から 年　　月まで	週　　時間 時給　　円	円
	年　　月から 年　　月まで	週　　時間 時給　　円	円

３．収入状況について、特殊事情等があれば記入してください。

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（様式Ｄ）

経済状況報告兼申立書（[区分 2]独立生計者・[区分 1]外国人留学生）

研究科等＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　受験番号＿＿＿＿＿＿＿＿　氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

１．区分（ [区分 2]独立生計者 ・ [区分 1]外国人留学生 ）※該当のものを〇で囲む

２．４月１日時点の、生計を同一にする者の人数……申請者本人も含めて＿＿＿名

※外国人留学生の場合、海外在住の家族・ルームシェア中の友人は、人数に含みません。

３．１ヶ月の平均生計費の内訳（現在生計を同一にする者全体についてのもの）

※免除申請後(入学後)約６ヶ月間をどう生活する予定なのか、各自の責任で計画を立てたうえで、下表に記入してください。

収　　入（１ヶ月）		支　　出（１ヶ月）	
1　仕送り・援助　※1	円	1　勉学研究費（本人授業料を除く）	円
2　アルバイト　※1	円	2　食費	円
3　常勤職の給与　※1	円	3　住居費	円
4　奨学金　※1	円	4　交通費	円
不採用になった場合 ※2	（　　）	5　教養娯楽費	円
5　貯金・貯蓄　※1	円	6　水道光熱費・通信費	円
6　その他　※1	円	7　その他	円
7	円	8	円
合　　計　※3	円	合　　計　※3	円

※１　添付書類について、別表Ⅰおよび別表Ⅲ（申請要領 p. 6-7）を参照してください。
※２　申請中・申請予定の奨学金が不採用になった場合、それをどう補う予定なのか括弧内に記入してください。
※３　収入及び支出の合計金額が一致するように記入してください。

４．奨学金について

2024 年４月以降に受給が確定している奨学金がある者は、下表に記入してください。

奨学団体名	受給期間	月額	備考
	年　月～　年　月	円	
	年　月～　年　月	円	
	年　月～　年　月	円	

※ **大学を通さず個人申請した奨学金の場合は、受給証（受給額・受給期間がわかる書類）の写を添付してください。**
※ 受給期間とは、その奨学金の交付の開始から終了までのことです。
※ 受給が終了している奨学金については、記入の必要はありません。

５．アルバイト又は定職について

申請時現在恒常的に行っている、あるいは 2024 年４月以降恒常的に行うことが決定しているアルバイト又は定職について、記入してください。

会社名等・職種	勤　務　予　定　期　間	条　件　等	収入平均月額
	年　月から 年　月まで	週　時間 時給　円	円
	年　月から 年　月まで	週　時間 時給　円	円

６．その他

経済状況について特殊事情等があれば記入してください。

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（様式Ｅ）

手 当 等 受 給 状 況 申 立 書

年　　月　　日

一 橋 大 学 長　殿

（入学料免除・徴収猶予申請者）

研究科等＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

受験番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（家計支持者）※外国人留学生は原則記入不要

氏名（署名）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

免除申請者との続柄＿＿＿＿＿＿＿＿＿

私の家族の手当等受給状況について、下記のとおり申し立てます。

記

現在、私の家族は各種手当等の受給が ※　あります　・　ありません。

なお、受給している手当等の詳細は以下のとおりです。

手当名	受給の有無	受給者氏名	受給年額	添付する証明書類
生活扶助費	※あり・無し		円	受給がある手当については、支払通知書等、受給額が確認できる証明書類の写しを必ず添付してください。 （個人番号（マイナンバー）は無記載または伏せた状態にして提出すること。）
児童扶養手当	※あり・無し		円	
児童育成手当	※あり・無し		円	
障害基礎年金 障害厚生年金	※あり・無し		円	
遺族基礎年金 遺族厚生年金	※あり・無し		円	
児童手当	※あり・無し		円	
傷病手当	※あり・無し		円	
	※あり・無し		円	

注意）※の箇所は該当するものを〇で囲んでください。
また、その他の手当等の受給があった場合は空欄をご使用ください。

※複数勤務先がある場合は、用紙をコピーして使用してください。　（様式Ｆ）

学生記入欄	
受験番号	
氏名	

賃　金　等　支　払　証　明　書

勤務先記入欄

① 就業者氏名	
② 就職年月日	年　　月　　日　※２
③ 雇用期間 （定めのある場合）	年　　月　　日まで （更新見込　□有　　□無）※チェックが無い場合は、更新有とみなします。
④ 雇用形態	□正社員　　□パート・アルバイト　　□その他（　　）

⑤ 給与月額【通勤手当を除く、税・社会保険料等の控除前の支給額】			
（1－1）給与支給実績がある場合 直近３か月の支給額　※３		（1－2）今後、給与を支給する場合 支給（予定）額	
年　　月	円	平均月額	月　　円
年　　月	円	（2）　賞与　※３	
年　　月	円	賞与の有無	□有　　□無
３か月の合計額	円		

⑦備考

※１　この証明書は、源泉徴収票又は給与明細等に代わるものとして作成いただくものです。
※２　雇用形態や給与形態が変更された場合は、その変更開始日を記入してください。
※３　⑤賃金等支払額について
　・（1－1）において、採用３か月を満たない場合、支払実績分のみ記入してください。
　・（2）賞与は、採用済、採用予定を問わず必ず記入してください。
※４　時期によって給与額にばらつきがある場合、（1－2）に支給予定額の平均月額を記入してください。
※５　不明点等ありましたら、一橋大学学生支援課（TEL：042-580-8117）にお問い合わせ願います。

上記のとおり証明する。

年　　月　　日

事 業 所 名
代 表 者 名　　㊞
記入担当者 TEL

記入された情報は、一橋大学の経済支援業務の範囲内においてのみ使用し、その他の目的には使用しません。

（様式Ｇ）

在 学 状 況 証 明 書

各学校等事務担当者　殿

（①貴学在学者：証明を受ける者）

学籍番号 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏　　名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（②一橋大学在学者：証明を必要とする者）

受験番号 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏　　名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

このたび一橋大学に在学中の兄弟姉妹等（②）が入学料免除・徴収猶予申請に必要としますので、私（①）の下記事項について証明願います。

記

＜2024 年度の在学状況＞

学 校 名	
設置区分	☐ 国立　☐ 公立　☐ 私立　☐ 独立行政法人
学校区分	☐ 大学院・大学・短大　☐ 高等学校　☐ 高等専門学校 ☐ 専修学校（高等課程）　☐ 専修学校（専門課程） ☐ その他（　　）
通学区分	☐ 自宅　☐ 自宅外

上記のとおり証明する。

年　　月　　日

学　校　名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

職　　名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏　　名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ㊞

※　この証明書は、学生証又は在学証明書等に代わるものとして作成いただくものです。
※　上記について、該当する項目の☐欄に✓印を付してください。
※　前期は４月１日以降、後期は 10 月１日以降在籍する者についてのみ、証明してください。
※　就学者が複数名いる場合は用紙をコピーして使用してください。

（問い合わせ先）一橋大学学務部学生支援課　TEL: 042-580-8117

（様式Ｈ）

申請者記入欄	
受験番号	
氏名	

長　期　療　養　証　明　書

各 診 療 機 関　　御中

療養者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（申請者との続柄：　　）

一橋大学の入学料免除・徴収猶予を申請するにあたり、申請者と生計を同一とする療養者の診療状況について、下記内容を証明してくださるようお願い申し上げます。

記

（１）傷 病 名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（２）診療期間 ・初　診　日 ＿＿＿年＿＿＿月

・終了見込み ＿＿＿年＿＿＿月頃 ・ 未定（ただし、初診日から６ヶ月以上の療養が見込まれる）

（３）保険証の種類 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（４）患者負担額

2023 年 10 月	＿＿＿＿＿円	2024 年 ４月（見込み）	＿＿＿＿＿円
2023 年 11 月	＿＿＿＿＿円	2024 年 ５月（見込み）	＿＿＿＿＿円
2023 年 12 月	＿＿＿＿＿円	2024 年 ６月（見込み）	＿＿＿＿＿円
2024 年 １月	＿＿＿＿＿円	2024 年 ７月（見込み）	＿＿＿＿＿円
2024 年 ２月	＿＿＿＿＿円	2024 年 ８月（見込み）	＿＿＿＿＿円
2024 年 ３月	＿＿＿＿＿円	2024 年 ９月（見込み）	＿＿＿＿＿円

上記のとおり証明します。

年　　月　　日

所　在　地

診療機関名

医　師　名　　㊞

※①申請時現在まで、６ヶ月以上の期間にわたり療養中であり、今後も引き続いて療養が必要な者、又は②申請時現在療養中であり、今後６ヶ月以上の期間にわたり療養が必要と認められる者を、長期療養者として療養費の控除ができるようになっております。
※すでに療養を終えた者は対象になりませんので、証明不要です。
※（４）患者負担額について、証明日時点で支払済みの場合はその金額を、それ以外の場合は見込み金額を記入してください。見込めない場合は、未記入で構いません。
※不明点等ありましたら、一橋大学学生支援課（TEL：042-580-8117）にお問い合わせください。

記入された情報は、一橋大学の経済支援業務の範囲内においてのみ使用し、その他の目的には使用しません。

（様式Ⅰ）

申請者記入欄	
受験番号	
氏名	

介　護　サ　ー　ビ　ス　証　明　書

各 介 護 機 関 等　　御中

介護サービス利用者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（申請者との続柄：　　）

一橋大学の入学料免除・徴収猶予を申請するにあたり、申請者と生計を同一とする者の介護保険の介護サービス利用状況について、下記内容を証明してくださるようお願い申し上げます。

記

（1）　現在の要介護度　　要支援 ・ 要介護１ ・ 要介護２ ・ 要介護３ ・ 要介護４ ・ 要介護５

（2）　サービス利用期間

・開　始　日　　年　　月

・終了見込み　　年　　月頃　・ 未定（ただし、開始日から６ヶ月以上の利用が見込まれる）

（3）　サービスの形態　　在宅サービス　・　施設サービス

（4）　実費負担額

（＝自己負担額（介護サービス費用の 10%または 20%）＋施設サービスの食費等＋介護保険給付限度額超過分）

2023 年 10 月	＿＿＿＿＿＿円	2024 年 ４月（見込み）	＿＿＿＿＿＿円
2023 年 11 月	＿＿＿＿＿＿円	2024 年 ５月（見込み）	＿＿＿＿＿＿円
2023 年 12 月	＿＿＿＿＿＿円	2024 年 ６月（見込み）	＿＿＿＿＿＿円
2024 年 １月	＿＿＿＿＿＿円	2024 年 ７月（見込み）	＿＿＿＿＿＿円
2024 年 ２月	＿＿＿＿＿＿円	2024 年 ８月（見込み）	＿＿＿＿＿＿円
2024 年 ３月	＿＿＿＿＿＿円	2024 年 ９月（見込み）	＿＿＿＿＿＿円

上記のとおり証明します。

年　　月　　日

所　在　地

介護機関名

責任者氏名　　㊞

※（1）現在の要介護度（3）サービスの形態は該当するものに〇を付けてください。（3）は複数選択可。

※（4）今後の実費負担額を見込めない場合は、未記入で構いません。直近６ヶ月分の負担額をご記入ください。

※ご不明な点等がありましたら、一橋大学学生支援課（TEL：042-580-8117）にお問い合わせください。

記入された情報は、一橋大学の経済支援業務の範囲内においてのみ使用し、その他の目的には使用しません。

（様式Ｊ）

家 庭 事 情 申 立 書

年　　月　　日

一 橋 大 学 長　殿

（免除申請者）

研 究 科 等＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

受 験 番 号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

私の家庭事情について、他に証明書類が無いため、以下のとおり、各申立者が申し立てます。

記

①【母子父子家庭について】

生別した（元）配偶者からの養育費、あるいは授業料の納期前６ヶ月以内（新入生については入学前１年以内）に死別した配偶者についての退職金や保険金についてご記入ください。

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

年　　月　　日　　申立者　氏名（署名）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　（申請者との続柄　　）

※養育費等や、死別した配偶者の退職金・保険金等の有無（無い場合はその理由）、その金額や支給時期について、該当するものを申し立ててください。

※退職金や保険金は、元勤務先ないしは保険会社発行の支給額が分かる証明書をあわせて提出してください。

②【無職無収入について】

入学料免除・徴収猶予申請に際し、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿は現在、無職無収入であることを申し立てます。

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

年　　月　　日　　申立者　氏名（署名）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　（申請者との続柄　　）

③【十分な所得がない場合の生計維持費について】

家計支持者の所得が著しく低い場合、どのように生計を維持しているか、ご記入ください。

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

年　　月　　日　　申立者　氏名（署名）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　（申請者との続柄　　）

（裏面につづく）

（様式Ｊ）

年　　月　　日

（免除申請者）

研 究 科 等＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

受 験 番 号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

④【＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿について】

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

年　　月　　日　　申立者　氏名（署名）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿（申請者との続柄　　）

※証明書類がない各種事情についての申し立てに当欄をお使いください。

（例①）大学院生で直前に独立生計となったため、健康保険証の写等で扶養から外れたことを証明できない場合　　…証明書類が無い旨を元扶養者の直筆で申し立ててください。

（例②）住民票上は同居しているが、実際は別居別生計している家族がいる場合
…別居別生計の旨を家計支持者の直筆で申し立ててください。

（例③）独立生計者もしくは外国人留学生で健康保険に加入していないため、健康保険証の写を提出できない場合　　…提出できない旨を本人の直筆で申し立ててください。

（例④）海外在住により、所得・課税証明書が発行されない場合
…提出できない旨を本人の直筆で申し立ててください。

（台紙１）

健 康 保 険 証 ・ 在 留 カ ー ド 貼 付 台 紙

（免除申請者）

学 籍 番 号 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

氏　　名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

○健康保険証の写・在留カードの写は、この台紙に貼付して提出してください。

○複数人分を提出する場合は、コピーして１名につき１枚使用してください。

健康保険証の写（表面）

[区分 1]外国人留学生

[区分２]独立生計者

※保険者番号及び被保険者等記号・番号に黒塗り等を施し当該箇所が隠れた状態で提出してください。

在留カードの写（表面）

[区分 1]外国人留学生

在留カードの写（裏面）

[区分 1]外国人留学生

入免・授免用

（　普通簡易書留　／　速達簡易書留　）いずれか選択

宛先	〒186－8601 東京都国立市中2－1 一橋大学　学務部 学生支援課 奨学事業係 入学料・授業料免除　担当　　行
差出人	住所 Adress：　〒
	氏名 Name：
	電話番号 Phone number：
学籍番号 Student ID No. （受験番号）	
所属	学部・研究科等： 課程：　学部　・　修士　・　博士　・　専門職
内容書類 （複数同封可）	□　入学料免除・徴収猶予　／ Enrollment Fee Exemption / Deferment □　授業料免除　／ Tuition Fee Exemption □　授業料徴収猶予　／ Tuition Fee Deferment ※申請要領に記載された必要書類が揃っているかご確認ください ※入学料免除と入学料徴収猶予は併願できません

↑切手を貼るスペースのため、ここからカットしてください

＊この宛先票を角形2号封筒に貼付し、郵便局窓口より郵送してください
＊Please attach this form to an envelope (240 mm x 332 mm) and mail it from the post office counter.